

文化祭'94

11月2日、3日 総合体育館・北部地区公民館・農村環境改善センターを会場に平成6年度の黒埼町文化祭が開催されました。町内の文化・芸術団体が多数参加し、その活動の成果を展示・公開するものです。

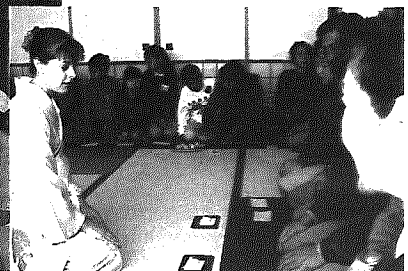
十一月二日(水)、三日(木・祝日)の二日間、総合体育館、北部地区公民館、農村環境改善センターを会場に平成六年度の黒埼町文化祭が開催されました。町内の文化・芸術団体が多数参加し、その活動の成果を展示・公開するものです。

総合体育館では、菊花展、消防イラスト展、ガス水道展、建設省北陸技術事務所の展示(ラジコンのヘリコプターから撮影した町の上空のビデオや事務所の主な事業の紹介)、保育園児や小中学生の図画、習字などが展示されました。また、二階卓球場では愛石会、俳句の会、民員の会の展示などが行われました。

のある人の作品で観覧者は見届けていました。また、一階ロビーでは、文化祭にはつきもののバザーが行われ、ネクタイや赤飯、ダンゴなどが売られ、好評でした。(二階では不用品即売も行われた)

体育館武道場では、写真、絵画、書、陶器などの展示が行われ、いずれも腕におぼえ

文化祭農具展示品は、バザー。様々な物がそろった。体育館内には、保育園・小中学生の作品が展示されたが、2日興野保育園の園児たちが作品を見に訪れた。改善センターでは抹茶、煎茶の茶会が催されていました。



野菜市やクイズラリーなど 盛りだくさんの内容で開催

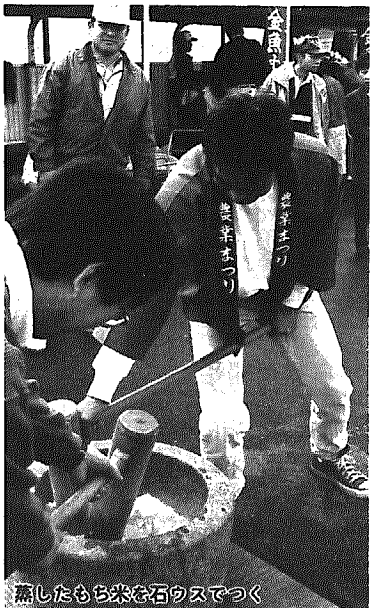


平成6年度 黒埼町農業まつり 11月3日(祝) 改善センター

十一月三日(木・祝日)、農村環境改善センターでは農業まつりが開かれました。これは「生産と消費の相互理解で農業の発展を」をテーマに行われているもので、今年で十四回目を迎えました。

当日は残念ながら雨まじりのお天気でしたが、午前九時から始まった野菜市には多くの人が集まりました。新鮮な長芋、れんこん、ごぼう、人参などの野菜が売られ、どれも、十時には完売となる盛況ぶりでした。

九時三十分からは、クイズラリーが行われました。これはオリエンテーリングとクイズを組み合わせたラリーで、



蒸したもち米を石臼でつく



クイズラリー。蒸したもち米を石臼でつく

黒埼町の今昔

執筆 宮田栄門

(先月号に続いて)

新聞による政府及び与党の主義政策の軍備の充実はわかるが、貴族院の権限縮小や普選の徹底(婦人参政権)、植民地に於ける差別政治の撤廃など、当時の政府の国策に反するような政策が記されており、このような社会主義思想を思わせる青年団の行事(擬国会)に現職の警官が司法大臣となつてよく許可されたものである。また、医業医療機関の国有化を、ということは今日の国保、社会保険制度のようなものを望んでのことと思われる。この木場小学校の模範国会に当時十六歳だった木場新田の古老丸山和五郎さん(明治四十四年生)は傍聴人として出席した。丸山さんは、「日本が日露戦争後軍国主義体制へ歩み始めていた昭和二年、今日の民主主義思想に近い、このような模範国会がよく行われたものだ。また各大臣の顔ぶれを見ると当時の木場の憲政、政友両派会員による挙国一致内閣の感がある。しか

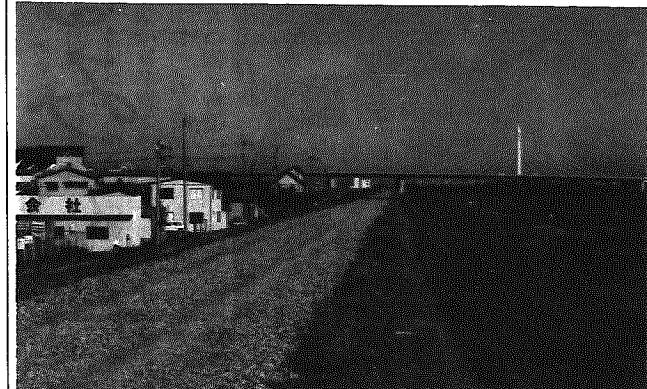
新聞からたどる黒埼の歴史 (其)

昭和六年、新潟空港(当時本宮飛行場)が山田島に移転計画のあったことを当時の新聞は伝えている。

し、この關係の中に木場青年団の第一の実力者の名がない。それは上組の渡辺平次郎さんで、この人が黒字になってこの催しを成功させた」と話している。

黒埼村に於ける模範国会は、昭和二年度の大野、木場での開催の外新潟新聞に記録もなく、この後このような催しは禁止されたのか、二度と行われなかつたようである。

あ丸山翁の賞賛する雄弁家渡辺平次郎さんについて紹介したい。昭和三年三月一日の新聞見出しに大きく「一度



現在の黒埼ふるさと村付近に飛行場移転の計画がもたらがったという

当選している。また渡辺さんは後に大野の宗村外一さんと、報徳訓で昭和初期の村の建て直しに尽くした人であるが、残念ながら昭和十八年、四十二歳で早世され

た。取材協力 丸山和五郎さん 新潟飛行場を山田島に移転の計画 昭和六年十一月十七日記事 現在の新潟市宮飛行場は広さは十二万余坪あり、飛行場としては十分の広さをもっているが海岸であるため冬分になると、シベリヤ直輸入の朔風が遠慮なく吹きすさび風害と飛砂の害があるため、飛行場としての第一条件である格納庫を設置することが困難である。

これがため一都市会議員間には市水道取水塔の上流信濃川にある西蒲原郡に接続する中蒲原郡曾木村大字合子ヶ作、山田島に移転してはとの意見が新保八十平あたりから市会内協議会に提案され問題となった。

十六日有光市土木課長は山田島が飛行場として適当であるか否かを検討したが、山田島は東西二六〇メートル、南北一一〇メートル約二万坪以上あるので現在の市宮飛行場の使用区域と比較すれば広さに於いては不足ではないが、南北に細長いため南北の離着陸は出来うるも、東西の離着陸は困難であり、その上、地ならしその他の整地費に相当の経費を要し、且つ同地域は目下畑地として使用されている

山田島飛行場については黒埼町今昔参照。